

## 平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青木村の豊かな自然、美しい景観や農業を都会に積極的にPRする事業
事業主体 (連絡先)	青木村活性化推進協議会 小県郡青木村村松340-3
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,209,072 円 (うち支援金 : 655,000 円)

### 事業内容

青木村は都会に対して新幹線は上田で下車して車で20分、高速道を利用して都心から3時間で来られ大変アクセスの良い立地にある。

この立地環境を利用して、今回青木村の自然環境の良さを都会に対して、特にこれまで交流のある品川区の戸越銀座を拠点に、品川区民27万に対してPR事業を積極的に推進した。

・戸越銀座商店街内のイベント会場にて7月と12月の2回青木村の観光、農産物のPR活動を行い延べ3,000人の品川区民等が来場した。

・青木村に農村体験に来た品川区の中学生の体験活動を品川ケーブルテレビに取材依頼し、その内容を品川区民に随時放映した。

・青木村の観光、特産品をPRするためリーフレット20,000枚を作成してイベント会場、品川区の公共施設等で配布した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

支援金を利用し品川区民に対して一定期間集中して青木村のPRを行った結果、青木村に対する親密度と親しみやすさを与えることができ、今後都市と農村との交流事業に対する拠点が出来たと思われる。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

品川区の行政組織も巻き込んで、商店街等役員、自治会、子供会等へ働きを強め、青木村への訪問者数の増加を高めていく。

28年度は地元商店街等の協力を得て、青木村へのモニターツアーを企画し、的確なニーズを把握し、青木村への魅力度を高めていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【品川区でのPR事業】

### 【目標・ねらい】

①品川区民と青木村村民との定期的交流

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

この事業は3年計画の1年目で、大きな流れはできたが、相互的な交流の実現には至っていない。